



MESSAGE NOTES

私の人生は御手の中に

詩篇 31 篇 15 節

ロイド フラハティ

1. 神様に信頼して自分の人生を歩む

詩篇 31 篇 15 節 私の時は御手の中にあります。

意味: 神様は、私たちの「人生全体」だけでなく、一つひとつの小さな瞬間までも支えておられます。神様は、「待つ時間」も、「静かな時間」も、そして「大きな出来事」も、すべてを治めておられます。

- 私の人生は神様の御手の中にあります。私の将来も神の御手の中にあります。だから、私は神様を信頼します。

2. 苦しい時にも神様を信頼する

詩篇 30 篇 5 節 夕暮れには涙が宿っても朝明けには喜びの叫びがある。

意味: 夜は長く感じられるかもしれませんが、やがて終わりが来ます。太陽が必ず昇るように、神様の喜びも必ずあなたのもとに訪れます。

- 困難はやって来ますが、それが永遠に続くことはありません。喜びは、すでにこちらに向かって来ています。

3. 神様うちにあって強く立つ

ピリピ人への手紙 4 章 13 節 私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

意味: 「strengthen (強める)」とは、神様がご自身の力を私たちの内に与えてくださることです。

- 私は自分の力だけでは強くありません。しかし、神様がその力を私の内に与えてくださるので、どんなことが起こっても揺るがずに立つことができるのです。

まとめ: 神様はあなたを気にかけておられます

ヨハネの黙示録 21 章 4 節 神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってください。

神様はあなたの心をご覧になっています。あなたの涙も見ておられます。そして、壊れたものを回復し、すべてを新しくしてくださいます。

私たちはこう告白することができます。「私は神様を信頼して自分の人生を歩みます。苦しいときにも神様を信頼します。神様の力を受けて立ち続けます。」

私の人生は神様の御手の中にあります。だからこそ、私の心は平安でいられるのです。